

就学児童票(案)

4. 宛名のお子さんの病児・病後児の対応についてお伺いします。

問10 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった	(→ 問10-1,2へ)
2. なかった	(→ 問11へ)

この1年間の、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問10-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。
(半日程度についても1日としてカウントしてください)

問10-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

1. 父親が休んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2. 母親が休んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

↓

できれば施設等に預けたい	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
--------------	----------------------	----------------------	---

4. 就労していない保護者がみた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育園で実施しているサービスを含む)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
6. ベビーシッターを頼んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
7. ファミリーサポートセンターにお願いした (地域住民による子どもの預かりサービス)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
9. その他 ()	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

病児・病後児保育の推計ニーズ量の算出のための項目。現状の利用量は、問12-1の選択肢5の日数。潜在ニーズ推計のため、子どもが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなど通常のサービスが受けられなかったときの対処方法及び日数を把握。父親・母親が休んだ日数及び親族・知人に預けた日数のうち、施設等に預けたい日数を病児・病後児の潜在利用ニーズとして用いることも可能。自治体の判断により、潜在ニーズをより広くとってまかまわない。